

インターンシップに参加した学生のアンケートから、研究室実習とインターンシップ全体の満足度を評価した結果の一部をご紹介します(回答者本人の承諾を得て、原文のまま掲載しております)。

質問 A 研究室実習の内容は満足できるものでしたか。その理由もお答えください。		
質問 B インターンシップは全体的に満足できるものでしたか。その理由もお答えください。		
①-A	満足	降雪というハプニングはありましたが、自分にとって不足している実験技術について学びました。また、予定には無かった実験見学もさせていただいたので良かったです。
-B	満足	日程調整の都合もあり、初めてのインターン参加が1人で、となって少々不安だったのですが、それ以上に大勢の方々にじっくりお話を聞けたり、自分の今の思いや質問など相談することができてとても良い経験を得られました。
②-A	どちらかといえば満足	職場の雰囲気を知ることでできる良い機会だったが、やる事が少なく手持ち無沙汰になることがあった。もう少し多くのことを体験したかった。
-B	満足	総研で働くこと具体的なイメージを掴むことができた。総研が社会の中で、どのような立ち位置でどのような活動をしているのかを知ることができた。
③-A	満足	研究員の方々と多くの議論ができた。
-B	満足	社会人としての研究員の姿を意識できた。
④-A	満足	自分の専攻テーマと完全にリンクしていなくとも、研究の立ち上げについて実習を通してイメージを具体化できたので良かった
-B	満足	様々な社員の方と座談会や実習において議論をすることができたので、研究を進めるイメージや実用化において重要なことを知る良い機会となった。
⑤-A	満足	作業ばかりだと思っていたが、実際の研究について十分に説明していただいた。質問もしやすかった。雰囲気も良かった。
-B	満足	鉄道総研についてよく知ることができた。関連するその他の研究室を紹介していただいた。
⑥-A	満足	全く異なる2つの研究領域 ^{注1} で実習させていただいたので、幅広い視野で鉄道総研の研究について知ることができた。 注1:実習研究室の数は1~3の範囲で異なります。参加される方々の専攻等に基づいて決めさせていただきます。
-B	満足	研究実習だけでなく研究所での働き方などについてもオープンに答えてくださり、鉄道総研で研究職として働くことの魅力を強く感じられた。
⑦-A	満足	複数の研究室を訪問できたことで、各分野の違いや連携を見られたことや、説明を聞くだけでなく実際に業務を体験する ^{注2} ことで仕事の具体的な内容を知れた点が良かったです。 注2:実際の業務を模擬した体験です。
-B	満足	座談会や実習を通して社員の方と直接お話できる機会が多かったので専門的なこと以外にも色々な質問をすることができ、就職先を選んでいる中で大変参考になる情報を多く得られました。
⑧-A	満足	3つの研究室を見学させていただき、広く浅く総研の仕事を知ることができて有意義でした。
-B	満足	研究職という職に就いて仕事をする自分の姿がよりはっきりとイメージできて貴重な経験になりました。

以上